

オロフレ峠展望台分岐～カルルス山～南峰～氷筈～サンライバスキー場 縦走

2025（令和7）年3月1日（土）

天気が良くないと遭難する可能性大。地形図とコンパスの重要性を再確認できた山行。

参加 L：SW田、SL：1730、気象：Y岸、会計：MZ江、〇〇田、SS山 6名
9：35 オロフレ峠展望台ゲート（分岐）→10：20 カルルス山→11：00 南峰→12：30 氷筈見学→14：00 サンライバスキー場 車両回収後、14：30 解散
天候 晴れ。風微風

6名のメンバーで山行を実施した。

今日の山行はオロフレ峠展望台入口のゲートから出発し、カルルス山と南峰を経由し、カルルス町の鉱山跡にある氷筈（ひょうじゅん）を見学してサンライバスキー場を下りてくるコースです。

カルルス山を過ぎ、南峰までは順調でしたが、983m地点にいったん下りてから予定していた鉱山跡氷筈に行くまで、リーダーをはじめ他のメンバーは未知のコースで、下山方向を間違わないように何度も立ち止まって現在地を確認し、下りる方向を確かめるが地形図に出ていない小さい沢が出てきます。その小さい沢を数回トラバース気味に下りながら、沢に入り込まないよう尾根伝いに下りようと心がけること1時間半。下りるにしたがって雪が重たくなり、転ばないよう神経を使います。氷筈に向かう林道に出会い、一安心。氷筈まであと少しです。



↑2月22日に登った三角点「白水川」の崖を右に見ながら、ルート確認。↑1058m地点の南寄りからカルルス山へ。



↑羊蹄山



カルルス山標識 前回よりも雪に埋まっていた。 右の標識は誰がつけたのか↑





↑ 氷筈の坑道入り口。 ↑ 氷筈の出来は高さも大きさも今一つだった。

今回のオロフレ峠展望台ゲートからサンライバスキー場まで標高差は 220m。これを逆のサンライバスキー場から登るとすると標高差 770m を登らなければならないので労力からすると今回のほうが楽だが、標高差 220m を下りるコースを間違えると大変なことになります。今回は天気に恵まれました。四方が良く見え、下りるコースも確実に見ることができました。今回の山行は地形図とコンパスの力とGPSの威力を確認できました。これからは山を侮ることなく山に向かいます。(SW田がリーダーの山行はハブニングが起こりやすく、無茶をするというのが定番なのですが、今回は無事に下山することができました。)

参加した皆様のご協力に感謝します。ありがとうございました。

(記録 SW田)